

LPガスCP情報(2014年1月積み)

1. 1月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 1, 010^{ドル} (前月比 - 90^{ドル})

ブタン 1, 020^{ドル} (前月比 - 205^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、12月CPが暴騰し需要は減退、第1週に一時トレーダー勢が引き合いを強めたが、産ガス国からのスポット供給も少なく需要家は様子見状態で市場は閑散とし、スポット市況は軟化した。CP先物指標はバックワーデーション(期先安)で月間通じて下落傾向が強まり、第2週でプロパン1,000^{ドル}、第3週でブタン1,044^{ドル}まで下げた。極東CFRは第3週末でプロパン1,025^{ドル}、ブタン1,065^{ドル}に軟化、フレートを除くFOB換算ではプロパンは1,000^{ドル}割れ、ブタンは1,000^{ドル}どころになる計算。125^{ドル}もあったプロパン・ブタン格差もブタン需要の減退でブタン市況が急落し10^{ドル}まで縮小した。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン13ポイント、ブタン26ポイントの下落、前年同月比ではプロパン、ブタンともに5ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	55.9	52.9	63.6	-	57.5
CP先物指標:P	1,020	1,000	1,004	-	1,008
CP先物指標:B	1,120	1,080	1,044	-	1,081

② 原油市況等

原油市況をみると、11月WTIは93^{ドル}、ドバイ108^{ドル}台でスタート。米国原油在庫が製油所稼働率の上昇もあり急減する一方、国内原油生産量がシェールオイル開発で急増、1988年10月以来の高水準に達し、輸入量を上回った。リビアの輸出が回復せず、南スーダンの情勢悪化、米国景気の楽観ムードで原油市況は急騰し、第4週末にはWTIが100^{ドル}を突破、ブレントも112^{ドル}に達した。一方、先物市場をみると、WTIの建玉(総取組高)は160万枚を一時割込んだものの大口投機玉ネット買い越しは10日に34.9万枚と増加した。

○12月積みアラビアンライト(11月1~31日**推定値**)は111.30^{ドル}(前月比+2.15^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン912.54^{ドル/トン} ブタン900.03^{ドル/トン}

AL比 プロパン110.68% ブタン113.33%

*ALはE I N推定値、確定値は今後の更新情報でご確認ください

2. 2014年1~2月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	105.16	106,212	107,263	-7,000	-18,800
26~25日②	103.93	109,600	116,700	+10,600	+9,400
1~30日③	104.48	111,800	120,800	+15,900	+18,100
1~30日④	104.48	110,200	117,300	+10,400	+9,200

*TTS平均は①が12月16日~12月30日まで、②は11月26日~12月25日

③は12月1~30日、④は12月1~30日、①は2月仕切への影響、②~④は、1月仕切適用。③は前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。②、④は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。